

評定、今度は如何なる誤解が少くもめまされが工場長も
自分も諸君の大分が善良なる人と認め、将来工場の
発展に共に力を盡したいと思つて居ります。今度の事は多
敷の方が余儀なくおしな行動に出たものと、心には工場
長もよく諒解して決して皆さへも悪意には解して居ま
せん。私は自分が断言します。此の事、本日より向ふ
日開(九月)自迄に会社及び自分の将来をよくお考
へにたつて、誠心誠意会社で働きたいお考へにたつり
ました。御自分で工場長に面して、諒解の止、會
社へ出勤していただきたい。でも、現今、今会社も非常中、に
仕事も澤山と居ります。忙しの際です。かうい
つまでも御得意に迷惑をかけるわけには参りませ
んの。で九日自迄に此工場に働くと、決心にたつた
方は任意辭職者と見做して職名簿から除き
ます。其際、是う勘定は九日より御子拂ひにしま
す。どうか、是れもよくお考への上、一日も早く工場長と
懇談の上で御入場を希望いたします。

今後は工場長と面會、諒解なき間は工場へおは
いりにたつる事をお断りいたします。

大正拾四年九月四日

日本建築士業株式会社

取締役 青木武夫

大島金太郎殿